

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(4) ア	施策・事業の聖域なきゼロベースの見直しと再構築 施策・事業の聖域なきゼロベースの見直しと再構築	<取組所管> ・取組①～③：局・室
----------	--	----------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

・施策や事業について、聖域を設けることなくゼロベースで点検・精査を行った結果に基づき見直しを進めたほか、各所属による自律的な見直しを行い、その内容を概ね予算に反映させた。

□ 3年間の取組状況

・市政改革プロジェクトチームにおいて、平成 23 年度予算における一般会計の一般財源ベースで 1 億円以上の施策や事業について、「点検・精査の視点」及び「施策・事業の水準等についての基本的な考え方」に基づき見直しを実施。区割り案の絞り込み後でなければ具体的な廃止・縮小施設を特定できない市民利用施設を除き、市政改革プランに掲げた見直し内容を予算に概ね反映させた。(取組①)

・同様に、1 億円未満の施策・事業についても、各所属において見直しを実施し、市政改革プランに掲げた見直し内容を予算に反映させた。(取組②)

・さらに、予算編成時にマイナスシーリングを設定するなど、各所属の自律的な見直しを促進した。(取組①③)

・予算案の公表に合わせ取組内容を取りまとめ、公表した。(取組①②③)

【取組の実施状況】取組①：B、取組②：A、取組③：A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
<取組①の成果目標> 平成 23 年度予算における一般会計の一般財源ベースで 1 億円以上の施策や事業に関する取組（アクションプラン編別冊 5 頁～116 頁）による見直し（削減効果額） 平成 24 年度 ▲ 31 億 2,300 万円 平成 25 年度 ▲137 億 2,800 万円 平成 26 年度 ▲226 億 1,000 万円	平成 23 年度予算における一般会計の一般財源ベースで 1 億円以上の施策や事業に関する取組（アクションプラン編別冊 5 頁～116 頁）による見直し（削減効果額） 平成 24 年度 ▲ 31 億 2,300 万円 平成 25 年度 ▲136 億 4,200 万円 平成 26 年度 ▲211 億 1,800 万円 別途、一般会計の一般財源ベースで 1 億円以上の施策や事業に関する各所属による自律的な見直し（削減効果額） 平成 25 年度 ▲ 16 億 6,400 万円 平成 26 年度 ▲ 33 億 5,800 万円	①
<取組②の成果目標> 平成 23 年度予算における一般会計の一般財源ベースで 1 億円未満の施策や事業のうち各所属での独自の取組（アクションプラン編別冊 117 頁）による見直し（削減効果額） 平成 24 年度 ▲ 600 万円 平成 25 年度 ▲2,900 万円 平成 26 年度 ▲7,900 万円 ※別途、社会福祉施設に対する上下水道使用料等の減免を廃止（平成 25 年度 ▲3 億 700 万円、平成 26 年度以降 ▲6 億 1,500 万円）	平成 23 年度予算における一般会計の一般財源ベースで 1 億円未満の施策や事業のうち各所属での独自の取組（アクションプラン編別冊 117 頁）による見直し（削減効果額） 平成 24 年度 ▲ 600 万円 平成 25 年度 ▲ 6,800 万円 平成 26 年度 ▲2 億 4,500 万円 ※別途、社会福祉施設に対する上下水道使用料等の減免を廃止（平成 25 年度 ▲3 億 700 万円、平成 26 年度以降 ▲6 億 1,500 万円）	①

□ 課題と今後の方向性

・見直し時期を延期した市民利用施設の廃止・縮小のほか、平成 26 年度までに見直しが完了していないその他の施策・事業について、市政改革プランの方針に沿って引き続き見直しに取り組む。(取組①③)

※「実績」欄の平成 26 年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

【取組の実施状況】 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
 【成果目標の達成状況】 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった